

有安さんと大庭さんの 往復書簡

美幸さん

こんにちは！

気の抜けない酷暑も一段落して、読書やお出かけが楽しいこの頃です。

最近では古い小説を読み返すことが増えて、感じ方が以前と変わったことを面白がってしまいます。

さて、今回は「あることがきっかけで急接近した話」をさせてください。

急接近するときには「なにかの共通点がある」とか、美幸さんのように「プライベートを共有する」ことが多いと思います。

たとえば夫とは、たまたま話の流れで職場の縁を知ったことで距離を縮めましたし、母校が同じことから一緒にお仕事させていただくようになった師匠もいます。

それなのに、明確な共通点もなく、深いお付き合いもないのに、距離がグッと縮まった方をひとり、思い出します。

私が病院に勤めていたときのことでした。

海外からの患者さまがいらしたときには、医療通訳を務めることがありました。

その日は受付にいませんでしたが、「通訳に来てほしい」と呼び出され、向かうと「健康診断をしてほしい」とおっしゃいます。

日本で就職されるようで、在留カードを示し、仕事のために来日されたことや就職先を教えてくださいました。

しかし、健康診断の項目がわからないのです。

当てずっぽうで検査を行うわけにはいきません。健康診断は健康保険もきかないし、項目が足りないとなれば、あとから再度お越しいただいたり、採血し直しになったりするからです。

有安さんと大庭さんの 往復書簡

これには困りました。

できることを考え、就職先に問い合わせたよいか尋ねると、「ありがとう」と拝むようにおっしゃいます。さあ、もう裏切れなくなってしまう—

その就職先に連絡を入れ、項目を聞き出そうにも、担当の方は「一般的なのでいいですよ」とおっしゃいます。項目を読み上げ、同意をとりましたが、「はあ…」と浮かないお返事。会社負担とのことなので費用や結果表の扱いをお伝えし、電話を切りました。

会話の内容をお伝えすると、ご本人は「ご親切にありがとうございます。もしも足りないものがあれば、また来ますから、大丈夫！」と、ケロツとされています。

彼女の優しい笑顔に安心し、検査のアテンドも終え、無事その日はお帰りになりました。

それから数回、体調を崩した際に来院されたのち、最初の来院からおよそ1年後のこと。スーパーでばったりと出くわしました。

「マナミ！グッドニュースがあるの！私、退職するの！」

えーっ。驚きを隠せませんでした。

理由を問うと、「最初から、頼りなかったから。契約の更新を断って、別のところに転職するの」とのこと。そのとき、彼女はそっと私に連絡先を渡してくれました。

職場外での再会が、急接近のきっかけでした。

もしかすると、彼女にとっては日本で当時少なかった知り合いを見つけた感覚だったのかもしれない。

彼女がはじめて私に日本語でかけてくれた言葉は、「あなたのおかげです」。

若い私には、その意味が理解できませんでした。

有安さんと大庭さんの 往復書簡

彼女とは、いまでもやりとりが続いています。

すっかり日本語が堪能になった彼女に尋ねてみました。
あのとき「わたしのおかげ」と言ってくれたのは、どんな意味ですか？と。

「私には、日本の就職慣行・労働慣行がわからなかった。だから、健康診断の項目が適当だなんて、あなたがいなければわからなかったし、それが日本の会社でどんな意味を持つのかもわからなかったの。そういうカルチャーのところに飛び込んで自分に合わないと感じたとき、そういえば最初からいい加減なところがあったと、あなたとの思い出で気づけたの。だから愛実のおかげですよ」

私はあくまで仕事人として、責任を果たすためにしただけなのに、彼女のターニングポイントにつながったとは、感慨深いものです。

妙に感謝されて、照れてしまいました。

美幸さんにも、思いがけず感謝されたことや意図せず誰かの役に立っていたことはありますか？

どうあれ、誰かの笑顔につながるのは嬉しいことですね。

さて、去年は秋頃に、美幸さんから魅力的な紅葉のお話をお聞きしたのを思い出します。

このやりとりもそんなに続いているのですね。

私にとっては、美幸さんからの一つひとつの心のこもったメッセージが大きな活力です。

いつも、ありがとうございます。

愛実



当時の写真を探したら、こんなものが…くたびれて底が剥がれたシューズです。

当時の平均歩数は毎日35,000歩。

愛実さん

こんにちは!!

もうすぐ中秋の名月だというのに、
まだ袖丈の短い洋服に身を包まれていると、なんとも不思議な感覚を味わいますね。
夏のお疲れは出ていらっしやいませんか？
愛実さんは頑張り過ぎてしまうところがあるとお見受け致しますので、
どうぞお身体をご自愛くださいね。

さて、
今回は「思いがけず感謝されたことや思いがけず誰かの役に立っていたこと」でしたね。

現在私は、MCと講師業を仕事にしているのですが、
実はこの2つは似通っているようで全く違う部分がございます。
「お相手に伝える」という点は共通しておりますが、伝え方が全く違うのです。
詳しく申し上げますと、MCはどなたかを立てる役割なので、私は影の存在となります。
新郎新婦様であったり、登壇される方であったり、イベントの主催者であったり。
ですから、その方達のお人柄や雰囲気やテンションによって、
同じ台本であっても、言い回しやトーンやスピードを変えるのです。
違和感は印象の中に気持ち悪く残りますからね。

一方で講師という仕事は、私自身が発信するのでオリジナリティが出せるのです。
披露宴の進行のように、上品に無難にやっていたのでは“私らしさ”が出ない。
ということで、これまでの人生で培ってきたものや強み、
そして個性的(?)な性格を前面に押し出して提供しております。

今回のテーマは、こちらの講座に当てはまります。
私の性格はポジティブ思考の上に成り立っているのですが、
その中でも「嫌われる勇気」を持っていることは強みの1つなのかもしれません。

万人に好かれるなんて不可能なこと。

いくら嫌われないようにと、他人の目を気にして八方美人をしていたところで、陰口を叩く方は必ずいます。

「羨ましい」といった一見プラスな感情も表裏一体で、いつの間にか「妬ましい」に変わっていることもしばしば。自分の人生を他人に振り回されるなんて、時間の無駄だと思いませんか？
・・・ということ、講座の中でお話するのです。

そうしましたら受講後

「美幸さんのお話を聴いていて、心のモヤモヤが晴れました」

「もっと自分のために生きていいんですね」

「自分のためにマイナス思考から脱出します」

「これからは自分軸で考えていこうと思いました」

など、皆さんからポジティブな感想をいただくことが多くなり、その度に

「少しでもお力になれたのなら良かった！！」と私の方がパワーを頂戴しております。

情報が溢れていて、簡単に人を傷付ける手段が多くある現在において

《I LOVE ME》精神を持つことは絶対に必要だと私は思います。

「自分さえよければいい」ということでは全くないですが、

自分の人生の舵取りは自分でしなきゃ。

舵取りを誰かに任せていたり、ただ流されているだなんてナンセンス。

ご自身が幸せや愛で満ち溢れているから、周りが彩りある景色に見え視野が広がるのです。

私は今後も、笑顔になってくれる方を増やすために活動していきたいと思います。

ということで次回は、愛実さんの「ご自身の中で揺るがないもの」についてお話を伺えれば嬉しいです。

先日は、ついにリアルでお出会いさせていただきありがとうございました。

顔を合わせてお話をしている中で、雰囲気や口調や話される内容から

優しさや柔らかさの中にある芯の強さを空気感や温度感からも感じ取ることが出来ました。

そんな軸を形作っているものは何なのだろうと気になったのでお聞きしてみました。

あと1週間で10月に突入致しますが、まだ2023年は3ヶ月もあります。
過ごしやすくなったこの時期に、
仕事も遊びも精一杯楽しんでやろうと笑顔で手帳に向き合う今日この頃です。
きっと愛実さんの手帳も真っ黒なのでしょうね。
それでは、また♡

美幸



ついに直接お会いできましたね！
ふたりともそれぞれ選んだケーキがシンク
クロ。楽しい時間になりました。

有安さんと大庭さんの往復書簡